

平塚空襲・終戦 70 周年 核兵器廃絶平和都市宣言 30 周年

企画展 平塚空襲 70 周年

2015年7月16日(木)～9月3日(木)

会場：1階寄贈品コーナー・2階情報コーナー

来る7月16日は平塚空襲 70 周年にあたります。この節目にあの空襲を振り返る展示をおこないます。

平塚空襲にかかわる資料や基本的な情報の紹介とともに、博物館で活動する「平塚の空襲と戦災を記録する会」による被災地図などの調査・研究成果も発表いたします。

この展示を戦争と平和について考えるきっかけにいただければ幸いです。

リレートーク 市民が探る平塚空襲 その時、人々は

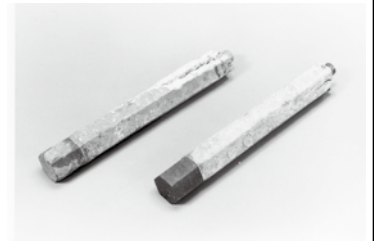
7月18日(土) 13時30分～15時30分

会場：平塚市博物館講堂

平塚空襲はどのような空襲だったのか。その生活の苦勞はいかなるものだったのか。6人の空襲体験者をお招きし、それぞれの体験談を通して、あの空襲の実態にせまります。

定員：80名(参加自由・当日受付先着順)

主催：平塚の空襲と戦災を記録する会 協力：I LOVE PEACE 事業運営委員会



平塚に40万本以上投下されたテルミットマグネシウム焼夷弾。

プラネタリウム特別投影

『夕風の街・桜の国』(ゆうなぎのまち さくらのくに)

7月18日～8月30日の土・日曜日、8月6日(木)、11日(火)～14日(金) 15時30分

広島市出身のまんが家、こうの史代さん原作の、原爆をテーマにしたコミック作品を、広島市こども文化科学館が「被爆地の科学館から平和を訴えたい」との思いでプラネタリウム番組化されたものです。期間中の土・日曜日のほか、イブニング・ミュージアム・ウィークでも投影を行います。

「夕風の街」と「桜の国」は、3世代にわたる家族の物語として描かれています。原爆が引き起こしたさまざまな影響に苦しめられながらも、それでもたくましく幸せに生きようとした人々を描いています。戦後70年を迎えて今なお「戦争、戦災」の重い影を背負った日常が、わたしたちの身近なところにあることを忘れないようにしたいものです。

